

活動報告

団体名	コミサボひろしま
活動名	被災者の生活再建のための床下・家屋処置、土砂・瓦礫撤去等活動
活動期間	2022/10/02～2022/10/31
活動の成果	<p>1. 瓦礫撤去・運搬、地域の様々な困りごとに対応することによる被災住民、地域のいち早い日常生活再建</p> <p>初動期の段階では、活動地区である内宮、内牧両地区ともに行政による廃棄物の回収が追いついていない状況でした。地域では道路にたまった廃棄物による生活への支障、隣近所での関係性の悪化（苦情、不満）、雨により道に出た廃棄物が濡れることでの臭いや衛生面での心配の声が聞こえていました。</p> <p>それに対して、早い段階で区長さん等と信頼関係を築き、回収・撤去に動けたことは、地域住民にとっての不安を取り除き、生活再建へ向け次のステップに一日でも早く進む支援になったと考えます。</p> <p>また、外部団体として地域で回収・撤去活動を行うことで、被災者さんが困った時に声をかけてくれるようになり、災害ボラセンも含め、地域外からの支援に対する垣根も結果として低くなった他、「この前手伝ってもらったから」と言う形で、一緒に他世帯の手伝いに顔を出してくれる住民さんが現れるなど、初動期の活動として成果があったと考えます。</p> <p>2. 床下からの泥出し、壁処理、カビ処理等に対応することによる、被災住民の生活再建、家屋再生に向けた不安の除去</p> <p>被災者の多くは、水害後にどのような被害が家屋に現れるのか、それに対してどう対応してよいのか分からない方が多くいました。団体として床下からの土砂撤去、壁処理、カビ処理等を行う中で、「私の家もみてもらいたい」「悩みを聞いてもらいたい」と言う形で地域内に話が広がりました。</p> <p>相談があった住民さんをはじめ、地域の多くの方と話す中で家屋再生に向けた見通しを立てることができた被災者さんも多くいた点は成果であったと考えます。</p> <p>また、相談に対しては、その後の本格的な家屋再建を必ず意識し、工務店、大工、被災世帯と一緒に話すことで、これまでの水害での経験を工務店、大工とも共有することができ、より現実的かつ経済的な家屋再建にも貢献できたと考えます。</p> <p>3. 経済的課題、世帯内の課題を抱える被災者に対し、連携団体との協働を通じた課題解決へに向けた道筋への貢献</p> <p>内宮地区においては、高齢独居世帯、持病を抱える方、災害を契機に家庭内に不和を生じさせるご家庭等、様々な事情を持った方がいました。それら状況に対して、協働相手でもある「被災地 NGO 協働センター」「静岡市社会福祉協議会」等とも情報共有しつつ、必要な機関（地域包括センター、社協）に繋ぐ頃で課題解決に向けた道筋を作っていくことに貢献出来たと考えます。</p> <p>その中で、災害前から地域の課題となっていた「ゴミ屋敷※地域との関係性が非常に希薄なおばあさん」「災害前に孤独死が発生し、その後の状況が分からず</p>

	<p>地域が不安を抱えた家屋」等、より複雑な課題の案件に対しても相談を受けることがあり、活動を契機に具体的な支援、解決につながったものも複数あり、大きな成果であったと考えます。</p> <p>4. 地域における担い手、中心人物のエンパワーメント 初動期からお世話になっている若手住民さん（40代）の方をはじめ、区長さん、自治会長さん等と積極的に信頼関係を気づくことができました。</p> <p>それにより、3. で述べたような困りごとが寄せられ、地域住民さんと一緒に解決に向けて活動できました。結果として若手住民さんや区長さん、自治会長さん等が、これからの地域を考える上で1つの力になれたと考えています。</p> <p>※社協、各団体等と一緒にあった相談会等もその流れの中で開催される。</p>
<p>寄付者へのメッセージ</p>	<p>この度は、ボラサポへのご寄付ありがとうございました。今夏も多くの地域で被害が発生しました。残念ながら災害が多く起こることで、被災しても世間からの注目を集めることが少なく、災害ボランティアさんをはじめ支援が届きにくい地域が生まれていると感じています。</p> <p>当団体としては、そういった地域でこそ活動を行い、1人でも多くの被災者さんが早く日常生活に復帰できるよう活動しております。皆様の支援がその大きな力となっています。本当にありがとうございます。</p>

(活動のようす)

